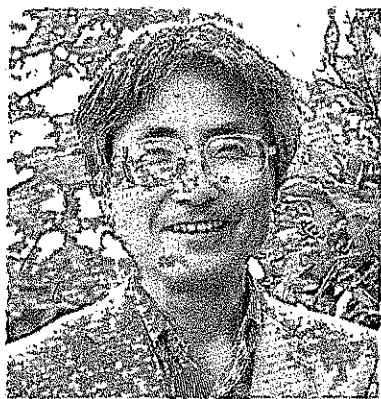


希望を束ね 共闘大きく



ふくしま県市民連合共同代表・山形大学名誉教授

おとし 那須 稔雄さん

県民は腹の底から怒っています。

野党共闘は安倍政権の暴走を阻止すると同時に、長期的に考えても、日本の政治を国民本位に変え、発展させていく道だと確信しています。政権側は共闘分断のために激しい攻撃を繰り返してきますが、それを乗り越え、平和を願う国民の希望を束ねることで野党共闘の流れを大きくしていきたい。

日本の政治上初めて共産党を含む野党が候補者を全国的に統一できた参院選は、国民にとって大きな光となりました。共産党が提唱する「戦争法廃止の国民連合政府」構想を励みに、多くの市民が全国で野党共闘を成長させてきたのです。

福島では、野党統一候補 原発再稼働でも、環太平洋連携協定(TPP)でも

総がかりの運動 全国へ



総がかり行動実行委(戦争をさせない1000人委員会)

しんこう 福山 真劫さん

平洋連携協定)やエネルギー政策、安保では沖縄の基地問題も入れる必要があります。それだけの幅を持った政策を野党間で合意できれば一番いいが、困難も予想されます。そこでは市民連合が大胆な政策提起をしていく必要があります。

参院選挙で32の1人区で野党統一候補が実現し11の選挙区で勝ったことは一つの希望です。改憲勢力に3分の2を許したことについて

戦争法強行

1年

9-19

各界から

ては、どこに原因があるか冷静に分析して次に行く必要があります。次の衆院選挙を野党共闘でたたかい勝つためには、共闘で政権を獲得するという基本原則を立て、共闘を組み立てる明確な政策が必要です。安保法制と立憲主義回復だけでなく、社会保障や働き方、TPP(環太平洋)

同時に、「総がかり行動」で、東京と中央に大同団結の旗は立ちましたが、地方ではまだまだこれからです。総がかりの運動を全国の地方、地域に広げる課題があります。しかし、それをやっていけば必ず勝てます。その確信を得たことが、このたたかひの最大の成果だと思っています。